



j-bmpは、シンクネイチャーのフリーミアムサービスですが、民間企業様による本サイトの情報のご利用に関しては、お問合せください。

 <https://think-nature.jp/contact>



沖合優先地域分析

Offshore Priority Area Analysis

水深200m未満の領海、および排他的経済水域(EEZ)を対象とした「沖合域」について次の解析を実施しました。「日本の沖合にすむ生き物を豊かに保ち、絶滅のリスクを最小限に抑えるために、特に重要な地域はどこか」という観点から、Zonation(ゾネーション)という計算プログラムを使い、すべての生き物をまとめた総合的な地域と、グループごとの「保全の優先地域」を点数化(スコアリング)しました。

この分析では、特定の生き物のグループ(分類群)だけに偏らないよう、すべてのグループの重要度(重み)を均等に設定して解析しています。つまり、沖合域の5つのグループ(哺乳類、海鳥類、爬虫類、魚類、頭足類)が、すべて同じ割合で貢献しています。

【関連リンク】

Kusumoto B., Shiono T., Konoshima M., Yoshimoto A., Tanaka T., Kubota Y. (2017) How well are biodiversity drivers reflected in protected areas? A representativeness assessment of the geohistorical gradients that shaped endemic flora in Japan. *Ecological Research*, 32: 299-311

<https://esj-journals.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.1007/s11284-017-1451-6>

Lehtomäki J., Kusumoto B., Shiono T., Tanaka T., Kubota Y., Moilanen A. (2018) Spatial conservation prioritization for the East Asian islands: A balanced representation of multitaxon biogeography in a protected area network. *Diversity and distributions*, 25: 414-429

<https://onlinelibrary.wiley.com/doi/full/10.1111/ddi.12869>

Zonation algorithm and software

<https://zonationteam.github.io/Zonation5/>

久保田 康裕, 楠本 聞太郎, 藤沼 潤一, 塩野 貴之 (2017) 生物多様性の保全科学: システム化保全計画の概念と手法の概要. *日本生態学会誌* 67: 267-286 https://www.jstage.jst.go.jp/article/seitai/67/3/67_267/_pdf

久保田 康裕, 楠本 聞太郎, 藤沼 潤一, 塩野 貴之, 鈴木 亮, 福島 新, 小澤 宏之, 宮良 工 (2019) 生物多様性地域戦略を空間的保全優先度分析で具現化する: 沖縄県の生物多様性保全利用指針 OKINAWA 作成の事例. *日本生態学会誌* 69: 239-250

https://www.jstage.jst.go.jp/article/seitai/69/3/69_239/_pdf/-char/ja



株式会社シンク・ネイチャー <https://think-nature.jp/>
〒901-2102
沖縄県浦添市前田3丁目15番10号 Ocean Current 202